

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について

諫早市教育委員会

○ 調査期日 平成31年4月18日（木）

○ 諫早市実施児童・生徒数

小学校6年生 1,221人

中学校3年生 1,098人

1 小学校について

(1) 全国・本県及び本市の平均正答率の傾向について (単位%)

校種	教科	国語	算数
小学校	全国	64	67
	県	61	65
	本市	60	64
	比較 (全国)	-4	-3

(2) 本県及び本市の生活習慣等の傾向について

※網掛け部分は、本市の結果が全国平均より上（良い状態にある）

児童質問紙の結果（県の「特徴的な姿」に対応）

【道徳性、自己有用感】 (単位%)

調査項目 (※ □番号は質問紙の項目番号)		小学校			昨年度との比較 (本市)	
		全国	県	本市		
1 □16	人の役に立つ人間になり たい。	H30	95.2	95.7	96.3	-0.2
		H31	95.2	96.0		
2 □15	いじめはどんな理由があつて もいけないことだと思う。	H30	96.8	97.0	96.6	+0.5
		H31	97.1	97.4		
3 □5	自分には、よいところが ある。	H30	84.0	85.5	84.2	-3.8
		H31	81.2	82.3		
4 □6	先生は、あなたのよいところ を認めてくれている。	H30	85.3	85.6	82.6	+0.1
		H31	86.1	87.0		

【学習習慣と生活習慣】

(単位%)

調査項目 (※ □番号は質問紙の項目番号)			小学校			昨年度との比較 (本市)
			国	県	本市	
1 17	家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	H30	67.6	67.5	67.7	+3.2
		H31	71.5	71.3	70.9	
2 19	授業以外に1時間以上の学習をしている(月~金)。	H30	66.2	67.2	68.2	-1.6
		H31	66.1	66.9	66.6	
3 1	毎日朝食を摂っている。	H30	94.5	94.3	95.0	+0.7
		H31	95.3	95.6	95.7	
4 4	家の人と、学校での出来事について話をする。	H30	80.5	80.8	80.6	-4.3
		H31	77.4	76.6	76.3	

【地域や社会に関わる活動の状況等】

(単位%)

調査項目 (※ □番号は質問紙の項目番号)			小学校			昨年度との比較 (本市)
			国	県	本市	
1 8	将来の夢や目標を持っている。	H30	85.1	85.1	84.2	-2.0
		H31	83.8	84.1	82.2	
2 12	学校に行くのは楽しい。	H30				
		H31	85.8	87.0	85.5	
3 23	今住んでいる地域の行事に参加している。	H30	62.7	64.8	61.4	+6.6
		H31	68.0	69.3	68.0	
4 24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	H30	49.9	48.0	44.8	+8.6
		H31	54.1	53.1	53.4	

(3) 傾向について

①国語、算数

- 国語においては、全国の平均正答率を4ポイント下回った。差は昨年度より大きく、課題改善に向けた、継続的で積極的な取組が必要である。
- 国語において、漢字の書き取りについては全国平均程度である。しかし、「話す・聞く能力」が他の観点に比べ、全国平均との差が大きい。
- 国語において、短答式の問題について正答率は全国平均程度である。しかし、選択式、記述式の問題に対しては全国平均との差が大きく、改善の必要がある。
- 算数においては、全国の平均正答率を3ポイント下回った。継続的に課題改善に向けた取組が必要である。

- 算数において、全項目について全国平均より下回っている。特に記述式の問題については大きく下回っており、改善の必要がある。
- 算数においては、差も昨年度より全項目において大きい。特に、「数量や図形についての知識・理解」については昨年度からの差の落ち込みが大きい。

②児童質問紙の傾向（概要）

- 「人の役に立つ人間になりたい」と思っている児童の割合は、全国、県の平均を上回っている。
- 「自分には、よいところがある」と思っている児童の割合は、昨年度より大きく減少し、全国と県の平均も下回っており、自己肯定感が低い。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と思っている児童は、昨年度より増加しているものの、全国と県の平均を下回っており、教職員の児童への接し方について課題がある。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」児童は全国と県の平均は下回っているが、昨年度より大きく増加している。学校の取組が改善傾向につながっている。
- 「授業以外に1時間以上の学習をしている（月～金）」児童は、昨年度より減少しているものの、全国平均を上回っている。
- 「毎日朝食を摂っている」児童は、全国と県の平均を上回っている。
- 「将来の夢や目標を持っている」児童は、全国と県の平均を下回っている。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童は、大きく向上しているが、全国の平均より下回っている。地域での体験が児童に活かされている。

(4) 本年度の重点課題

- ・平均正答率が全国と3ポイント以上開きがあるもの
(○：上回っているもの △：下回っているもの)

【国語】

領域	内 容
話すこと・聞くこと	△話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする。 △目的に応じて、質問を工夫する。 △話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。
書くこと	△目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。

読むこと	△目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。 △目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	△ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。

【算数】

領域	内 容
数と計算	△加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。 △示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。 △示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。 △示された除法の式の意味を理解している。
量と測定	△示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。 △場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。
図 形	※該当なし
数量関係	△加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。 △示された除法の式の意味を理解している。 △場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。

2 中学校について

(1) 全国・本県及び本市の平均正答率の傾向について

(単位%)

校 種	教科	国 語	数 学	英 語
中学校	全国	73	60	56
	県	73	60	54
	本市	73	59	53
	比較 (全国)	±0	-1	-3

(2) 本県及び本市の生活習慣等の傾向について

※網掛け部分は、本市の結果が全国平均より上（良い状態にある）

生徒質問紙の結果（県の「特徴的な姿」に対応）

【道徳性、自己有用感】

(単位%)

調査項目 (※ □番号は質問紙の項目番号)		中学校			昨年度との比較 (本市)	
		全国	県	本市		
1	人の役に立つ人間になり	H30	94.9	96.6	96.2	-1.9
16	たい。	H31	94.3	95.9	94.3	

2	いじめはどんな理由があつてもいけないことだと思う。	H30	95.5	96.9	96.8	+0.4
		H31	95.1	96.7	97.2	
3	自分には、よいところがある。	H30	78.8	81.5	81.4	-3.9
		H31	74.1	75.9	77.5	
4	先生は、あなたのよいところを認めてくれている。	H30	82.2	84.1	84.4	+0.1
		H31	81.5	83.6	84.5	

【学習習慣と生活習慣】

(単位%)

調査項目 (※ □番号は質問紙の項目番号)		中学校			昨年度との比較 (本市)	
		国	県	本市		
1	家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	H30	52.1	52.3	51.3	+0.9
		H31	50.4	50.4	52.2	
2	授業以外に2時間以上の学習をしている(月~金)。	H30	36.4	31.1	33.9	-2.2
		H31	35.5	28.8	31.7	
3	毎日朝食を摂っている。	H30	91.9	94.1	94.4	+1.6
		H31	93.1	95.0	96.0	
4	家の人と、学校での出来事について話をする。	H30	76.0	79.1	80.7	±0
		H31	76.4	80.0	80.7	

【地域や社会に関わる活動の状況等】

(単位%)

調査項目 (※ □番号は質問紙の項目番号)		中学校			昨年度との比較 (本市)	
		国	県	本市		
1	将来の夢や目標を持っている。	H30	72.4	72.9	74.9	-1.6
		H31	70.5	72.0	73.3	
2	学校に行くのは楽しい。	H30				
		H31	81.9	85.1	84.2	
3	今住んでいる地域の行事に参加している。	H30	45.6	49.6	47.1	+10.2
		H31	50.6	54.5	57.3	
4	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	H30	38.7	39.8	40.1	+2.9
		H31	39.4	41.6	43.0	

(3) 傾向について

①国語、数学、英語、問題の傾向(概要)

○国語においては、平成30年度の無解答率が20%を超える問題が1問あったが、今回はなくなり、記述式の問題についても解答率は全国平均よりも低い。

- 国語において、どの項目においても全国平均並みではあるが、「書く能力」と「読む能力」が全国平均を下回っている。
- 数学においては、平成30年度の無解答率が20%を超える問題が5問あったが、今回は1問あった。記述式の無解答率が多いものの、全国平均正答率を上回っている。
- 数学において、関数の領域の平均正答率が全国的に低く、その中でも本市は全国と県の平均正答率を大きく下回っている。
- 英語においては、全国平均正答率を3ポイント下回っている。
- 英語において、特に「読むこと」と「書くこと」が大きく下回っている。

②生徒質問紙の傾向（概要）

- 「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と思っている生徒の割合は昨年度までと同様に高く、全国平均を上回っている。
- 「自分には、よいところがある」と思っている生徒の割合は昨年度に比べ減少しているが、全国平均より上回り、自己肯定感は比較的高い。
- 「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と思っている生徒の割合は全国・県平均より上回っており、自己肯定感を高めるような認める教師の接し方を継続的に行う。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の割合は昨年度に比べ増加しており、全国・県平均を上回っているが、「授業以外に2時間以上の学習をしている」生徒の割合は昨年度より減少しており、さらに全国平均と比べると大きく下回っている。このことから、計画的に学習しようとしているが、家庭学習の時間が少ないことがわかる。家庭学習の方法について課題である。
- 「朝食を毎日食べる」などの基本的な生活習慣が確立されている生徒の割合は、昨年度に比べると増加し、全国・県平均を上回っている。
- 「家の人と、学校での出来事について話をする」生徒の割合は昨年度に引き続き全国・県平均を上回っている。
- 「将来の夢や目標を持っている」生徒の割合は昨年度と比べると減少してはいるが、全国・県平均を上回っている。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合が昨年度と比べると大きく増加し、全国・県平均を上回っている。

(4) 本年度の重点課題

- ・平均正答率が全国と3ポイント以上開きがあるもの
(○：上回っているもの △：下回っているもの)

【国語】

領 域	内 容
話すこと・聞くこと	※該当なし
書くこと	※該当なし

読むこと	△文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	※該当なし

【数学】

領域	内 容
数と式	○事柄が成り立つ理由を説明することができる。
図形	○平行移動の意味を理解している。 △証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。 △結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。
関数	△グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。 △事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
資料の活用	○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。 △資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。

【英語】

領域	内 容
聞くこと	△まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる。 △聞いて把握した内容について適切に応じることができる。
話すこと	※該当なし
読むこと	○まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる。 △日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。 △日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。 △まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる。 △書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる。
書くこと	△文の中で適切に接続詞を用いることができる。 △一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる。 △一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことが

	<p>できる。</p> <p>△与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。</p> <p>△与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる。</p>
--	--